

ウーロンゴン大学

留学報告書

学部学科・研究科専攻	文理融合学部地域社会学科		留学時学年	2年
留学先	国	オーストラリア	大学/機関	ウーロンゴン大学
期間	2026年2月21日～2026年3月21日			
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。	計 1ヶ月		

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 週 20 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）： English

【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時～13時	○	○	○	○	○	○	Free
8:30-12:30	○	○	○	○	○	Free	Free
午後	Free	Free	Free	Free	Free	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】 クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

約 10～12 人ほどですが、各大学のプロジェクトのスケジュールが異なるため人数にばらつきがあり、時々編入生もいる。

私のクラスの国籍分布は、私だけが中国人で、他の全員が日本人だ。

担当の先生には、オーストラリア人 2 人の先生がいる。

授業の進め方は、明日はテーマが変わり、ゲームやグループディスカッションを活用して行う。文法、スピーキング、読解、ライティングの全科目にわたって取り組み。使用している教材は、毎日先生から配布するものだ。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

平日には、週に 1 回ほど学校が校外活動を主催し、Symbio 動物園や Botanical 植物園、wollongong 海岸沿いの散歩散策などに行ってくれた。また、私自分で平日の午後に授業が終わったら、時々ウーロンゴンの近くを散策します。例えば kiama、Gerringong、南天寺（南半球で最大の寺院）など。

週末に電車でシドニーへ行き、通常はシドニーで一泊過ごす。ある週末にメルボルンへ行った。シドニーでシドニー海港橋を登り、シューティング体験やバンディビーチのひとつときを楽しむ、シドニー大学の見学などをした。メルボルンでは友人と会い、一緒に観光・遊んだ。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

私が最もよく利用している施設は食堂とジムだ。食堂には非常に豊富な選択肢があり、好きなものを選べるだけでなく、UniBar（大学のバー）もある！宿泊家庭は普段から昼食を提供していないため私は普段、食堂で中華料理を食べたり、subwayを食べたり。一食はおおよそ13~15オーストラリアドル（約1450~1680円）。

ジムは毎日授業が終わった後に通っており、学生のため週間会員費は17オーストラリアドル（約1900円/week）、入会費がなし。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋 1人で使用

様子：

私のホームステイは、私とホームステイママ、そしてペットの犬の3人で構成されている。私たちが住んでいるのはシンプルな2LDK（リビングダイニングキッチン）で、ホームステイママは主寝室に、私は下位の寝室に住んだ。私の部屋はとてもシンプルで、勉強や化粧をするための大きなテーブルと椅子があり、1台のシングルベッドがあり、ベッドサイドテーブルとして使える本棚とクローゼットもある。

毎日朝食と夕食を用意してくれて、私の食事量に合わせて調整してくれて、とても美味しい。また、私が好きな食べ物や果物について尋ねて、それらを購入してあげた。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

まず自身から見ると、いろんな文化交流ができたこと（いろいろな国の友達ができ、価値観も広がった）また、英語での会話が徐々に上達し、自信がついたこと。さらに、アジアできない新しい生活スタイルを経験できた。

オーストラリア自体から見ると、シドニーやメルボルンなどの観光地を訪れ、美しい自然や街並みを楽しめた。また、現地のイベントや文化（バーベキュー、のんびり暮らす、シューティングなど）を体験できた。

● 苦労したこと：

特に苦労していることはないような気がする、唯一の不都合はオーストラリアにあまり眠くなっているだけかもしれない。オーストラリアの空気には眠気薬が混じっているみたいで、毎日早めに寝てしまう。日本にいた時のように夜更かしするわけにはいかないけど、でも健康になったのはいいことだと思う。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

日常会話だけでなく、授業やディスカッションで使う実践的な英語力が身についた。また、リスニング力が向上し、ネイティブの自然なスピードにも対応できるようになった。さらに、スラングや口語表現など、現地特有の自然な英語表現を習得と理解し、使えるようになった。

2) 専門知識の向上：

略語やスラングなど、オーストラリア特有の言語表現についての知識を身につけた。また、オーストラリア英語の発音やイントネーション、語彙の特徴について理解を深めた。さらに英語の地域的多様性に対する理解を深めた。

3) 自己成長など：

まず異文化の中で生活することで、柔軟性や適応力が身についた、また困難な状況にも自分で対応する力（問題解決能力）が向上と積極性やコミュニケーション能力が高まり、自信がついた。さらに自分の将来や価値観について深く考えるきっかけになった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

若い頃に、自分の人生をもっと楽しんでください。海外留学は、より広い世界を見学し、異なる人生を体験する絶好の機会である！ぜひ楽しんで、目で他の陸半球の違いを発見し、心を込めて感じてください。最後に、地元の習慣に慣れ、現地の人々のように生活してみてください！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	78万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費・ホームステイ代など）	0
4	教材費		0
5	保険代		0
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		5万円
7	個人的な買い物		10万円
8	その他（ 旅行費 ）		15万円
9	留学に関する費用（1から8の合計）		108万円
10	受給した奨学金（奨学金名： ）		0
11	留学に関する費用総額（上記9から10を引いた額）		108万円





